

令和 8 年 1 月 19 日

環境経済委員会

産業振興課

労働政策課

スタートアップ推進課

観光・シティプロモーション課

農業水産課

産業分野における海外展開の取組について

令和 7 年度産業分野における海外展開の取組について、ご報告いたします。

- 1 浜松・インド経済交流推進事業の報告
- 2 シンガポール出張の報告
- 3 中国友好都市交流事業の報告

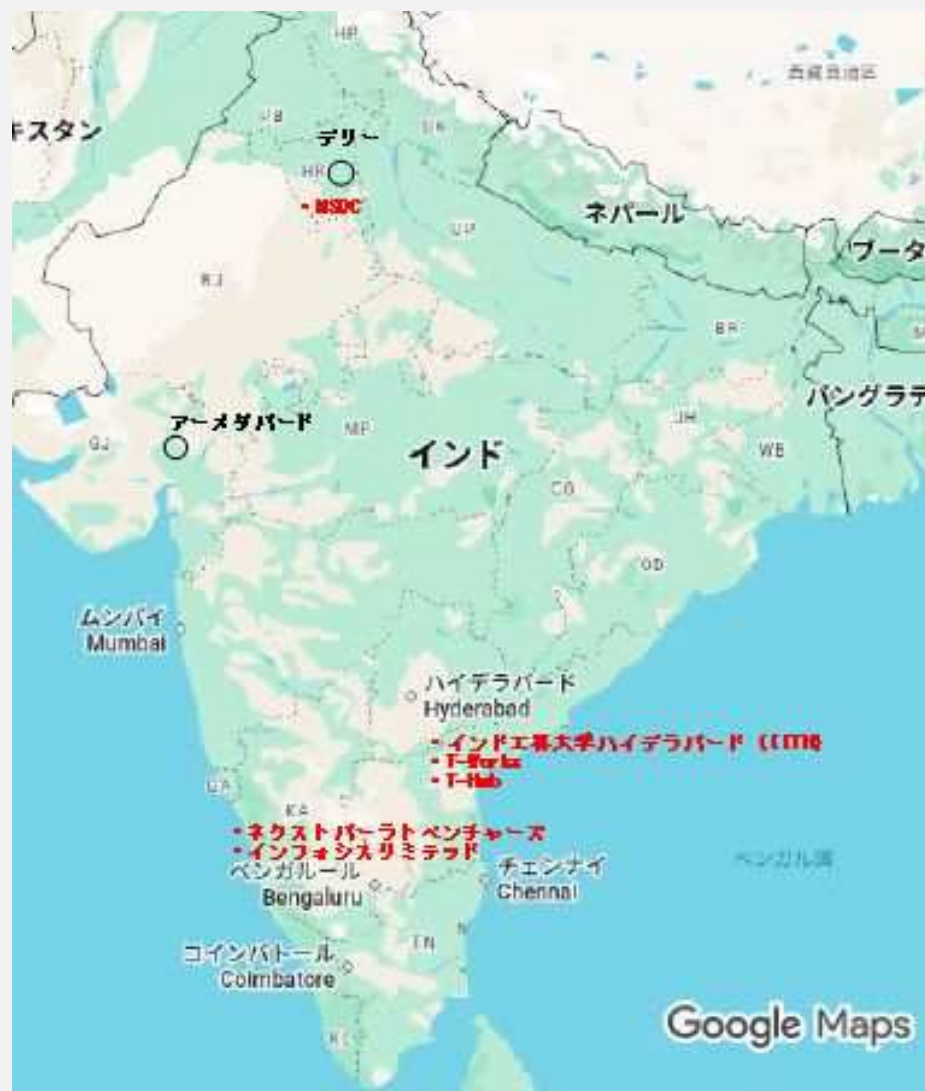


令和7年度 浜松・インド経済交流推進事業の報告

令和8年1月19日（月）



1 令和7年度インド出張先・期間について



- ①令和7年4月27日～5月3日（7日間）
都 市：チェンナイ・ハイデラバード・
バンガロール・デリー
- ②令和7年8月18日～8月24日（7日間）【市長】
都 市：アーメダバード・ハイデラバード
- ③令和7年10月29日～11月3日（6日間）【副市長】
都 市：バンガロール・コインバトール・
ハイデラバード
- ④令和7年12月10日～12月13日（4日間）
都 市：バンガロール
- ⑤令和8年1月11日～1月18日（8日間）【市長】
都 市：デリー・アーメダバード・
バンガロール・ハイデラバード
- ⑥令和8年2月4日～2月8日（5日間）予定
都 市：アーメダバード

今年度は計6度のインド出張を予定し、インドとの連携を深めています。

2 令和7年度事業推進体制図について



| | 目的・連携先 | 方法 | 事業内容 |
|---|---|---|---|
| 1 | ◎海外展開(進出・輸出) アーメダバード市 | 進出・輸出の基礎情報収集 ・提供・可能性調査 地域企業と印企業の連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・アーメダバード市との友好協定締結 ・ビジネスミッション団派遣 ・海外FS調査補助金 |
| 2 | ◎新事業展開 インフォシスリミテッド | インフォシスリミテッドとの連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・インフォシスリミテッドとの協定締結 ・市内企業との連携(地域企業のイノベーション創出や付加価値向上) |
| 3 | ◎スタートアップ・イノベーション Next Bharat Ventures T-Hub | 印スタートアップ・IT企業誘致 市内企業-印スタートアップ・ 市内スタートアップ-印企業の連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業と印スタートアップとのマッチング ・T-Hubとの覚書締結 |
| 4 | ◎人材獲得 IITH、NSDC T-Works | 高度外国人材、ミドル人材、 ワーカー人材の獲得 受け入れ環境整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・浜松デイの開催(IITH) ・IITH教授の出前講座 ・送出機関-受入機関のマッチング(NSDC) ・T-Worksとの協力書締結 ・インターナショナルスクール誘致 |
| 5 | ◎企業市民間の交流促進 アーメダバード市 AMA | 共通する風文化を通じた交流など | <ul style="list-style-type: none"> ・カイトフェスティバル参加 ・浜松まつり・インドはままつフェスティバルへ招待 |

3 海外展開（進出・輸出）



①海外展開（進出・輸出）

(1) 令和7年8月にアーメダバード市と友好協定締結

内 容：高成長が続くインドとの経済連携を円滑に進め本市産業の持続的発展に繋げるため、経済・文化・教育などの幅広い分野での交流促進を目的とした友好協定を締結

その後の展開：インド浜松フェスティバルへのアーメダバード市関係者の招待（9月）やカイトフェスティバルへの参加（R8.1月）など、企業市民間の交流促進



3 海外展開（進出・輸出）



①海外展開（進出・輸出）

（2）市内企業のインドへの事業展開を促進するため、令和8年2月4日～8日にビジネスミッション団を派遣予定

訪問予定先：JETROアーメダバード事務所、現地企業（CAPARO社※）
日系企業（ASTI）、展示会（Engi Expo 2026）
※マルチスズキの主要ローカルベンダー

参加予定企業：8社・11名



4 新事業展開



②新事業展開

(1) インフォシスリミテッド※との包括連携協定締結

※バンガロールに本社を置く世界有数のIT企業

日 時：令和8年1月16日

内 容：浜松地域企業のイノベーションの創出と付加価値向上を目的とする包括連携協定を締結

今後の展開：優秀なIT人材を有するインフォシスリミテッドとの具体的な連携内容や推進体制を検討

(2) インフォシスリミテッドが浜松市内にブランチ設置（検討中）



インフォシスリミテッド バンガロール本社



5 スタートアップイノベーション



③ スタートアップイノベーション

(1) ネクストバーラトベンチャーズへ職員長期派遣（令和7年度～派遣）

(2) インドスタートアップと浜松地域企業とのマッチングイベントの開催

日 程：令和7年10月7日

場 所：浜松市内

参 加 企 業：インドスタートアップ7社、インドベンチャーキャピタル4社
浜松地域企業27社

内 容：パネルディスカッション、インドスタートアップピッチ、交流会を実施し、アンケートでは9割以上の参加企業から高評価を得られた

その後の展開：企業同士がマッチングするためには、継続的かつ多くの機会の提供が必要のため、オンライン交流会等の開催を検討中



5 スタートアップイノベーション



③ スタートアップイノベーション

(3) スタートアップ支援機関T-Hub※との覚書締結

※州政府の主導により設立されたインド最大級のイノベーションハブ拠点。インド政府や教育機関、国内外の企業との連携を通して、これまで数千社のスタートアップを支援している非営利のインキュベーション施設。

日 時：令和8年1月17日

内 容：事業連携、人材交流、情報提供等を目的とした
「人的・経済的交流に関する覚書」



今後の展開：

- ・ 浜松地域企業と、インドのスタートアップ等とのネットワーク構築の支援
- ・ ピッチイベント等の共同開催など

6 人材獲得



④ 人材獲得

(1) インド工科大学ハイデラバード校（IITH）と浜松地域企業及び大学とのマッチングイベント「Hamamatsu Day」の開催

- 日程：令和7年11月1日・2日
場所：インド工科大学ハイデラバード校
参加者：浜松地域企業8社及び大学1校
内容：①浜松地域企業・大学によるピッチを実施し、IITH学生約120名が聴講
②浜松地域企業・大学とIITH学生との個別相談会を実施し、延べ約550名の学生が各社のブースを訪問
- その後の展開：・採用（内定）1社・7名（応募者 257名）
・インターンシップ決定 1社・1名（応募者 67名）

（イベント開催風景）



6 人材獲得



④ 人材獲得

(2) インド最大のプロトタイプセンターT-Works※との協力書締結

※州政府の主導により設立されたインド最大のプロトタイプセンター（製造試作品開発等を実施）。インド政府が掲げる「メイク・イン・インド」のもと、ものづくり産業の育成に注力する他、学生向けインターンシップ等も実施。

日 時：令和8年1月17日

内 容：製造業やスタートアップとの連携、イノベーション創出等を目的とした協力書の締結

今後の展開：高度な技術スキルなどを持つインドの優秀な人材を獲得するため、浜松市内企業とインドの人材とのマッチング機会の創出 など

(11月訪問時)





④人材獲得

(3) インドの送出機関と浜松の受入機関・企業とのマッチングイベント等の開催

日 程：令和8年1月13日～15日

場 所：デリー

参加企業：インド側・送出機関7機関程度
浜松側・9者（登録支援機関3者・浜松地域企業6社）

内 容：送出機関視察・マッチングイベント、インド人学生への啓発イベント

今後の展開：インド送り出し機関とのネットワークを構築できるイベントを次年度以降も継続検討

7 企業市民間の交流促進



⑤企業市民間の交流促進

(1) インドはままつフェスティバルの開催

日 程：令和7年9月13日、14日

場 所：新川モール

来場者数：約6,600名（2日間合計）

内 容：インドの文化を紹介する民間主催のフェスティバル。今年度で2回目の開催。
アーメダバード市関係者を招待し、ダンスパフォーマンスを披露して交流を深める



7 企業市民間の交流促進



⑤ 企業市民間の交流促進

(2) カイトフェスティバル※参加

※世界中から凧の愛好家が集まり、色とりどりの凧が空に揚がるアーメダバード市で開催されるお祭り。

日程：令和8年1月14日

場所：アーメダバード市

内容：浜松まつり関係者（統監部）16名とともに参加し、インドと浜松の友好を象徴する大凧を揚げ、共通の凧揚げ文化を通じた交流を図る



7 企業市民間の交流促進



⑤企業市民間の交流促進

(3) ヤマハ（株）による異文化理解・音楽交流プログラムの実施

実施場所：浜松市立城北小学校

実施時期：令和7年6月6日に第1回目の授業。7か月間に渡り月1回の探求型授業を実施

内 容：・5年生の児童を対象に、インドの暮らしや基礎情報について学び、プログラムの最後にはインド国内の小学校とリモートでつないでオンライン音楽交流会を実施

・児童がデザインした遠州織物の凧を製作し1月渡航時にインド側へ贈呈



児童がデザインした遠州織物の凧



凧のお披露目式



⑥ その他

インドビジネス啓発セミナーの開催

| | | |
|-------|--------------|------------------|
| 内 容 : | 第1回 (6月6日) | インドビジネスのきっかけについて |
| | 第2回 (6月26日) | インドのワーカー人材について |
| | 第3回 (7月15日) | インドの高度人材について |
| | 第4回 (9月19日) | インドへのビジネス展開について |
| | 第5回 (10月1日) | インド人材が切り開く浜松の未来 |
| | 第6回 (11月27日) | インドの大学との連携について |

参加人数 : 183社・247名 (累計)

インドセミナー第1弾
インドビジネスへの第一歩
～インドの魅力を知り、ビジネス展開のきっかけに～

2025. 6.6 FRI 参加費無料 | 定員100名
OPEN 14:00/START 14:30-16:30

会場
グランドホテル浜松 2階 レアランジェ
静岡県浜松市中央区草花1-3-1

対象
インドへの事業展開・連携に興味のある企業

プログラム

- 成長を続けるインドの魅力～日系企業によるインドの活用策～ (60分)
・講師：インド経済研究所/顧問/豊谷 弘 氏 (15分)
EY税理士法人/アソシエートパートナー/山口 智寿 氏 (45分)
- インド市場のポテンシャル
～デジタル公共インフラの先進性に学ぶ事業機会～ (60分)
・講師：スズキ株式会社/参与/岡藤 敦司 氏

※プログラムは予告なく変更する場合があります。

お申し込み
おの2次元コードまたは下記URLよりお申し込みください。
<https://seminar.inn.jp/india/>
(申込期限：令和7年6月5日(金) 正午まで)

主催：伊豆半島経済産業局・浜松市経済産業局・浜松市国際交流推進課・浜松市国際交流推進課・浜松市国際交流推進課・浜松市国際交流推進課
協賛：浜松市国際交流推進課・浜松市国際交流推進課・浜松市国際交流推進課・浜松市国際交流推進課
お問い合わせ：053-437-2044 (Eメール: city.banetsu@city.banetsu.lg.jp)

2025年度
インド関連セミナー開催予定
全7回シリーズ

第1回 | 6月6日 済
インドビジネスのきっかけについて
インドビジネスの魅力や市場のポテンシャルについて説明しました。

第2回 | 6月26日 済
インドのワーカー人材について
インドワーカー人材の特徴や利便性、海外事務などを詳しく説明しました。

第3回 | 7月15日 済
インドの高度人材について
インドの高度人材の活躍の可能性、期待できる役割などを説明しました。

第4回 | 9月19日 済
インドへのビジネス展開について
インドへの進出や現地展開などインドでのビジネス展開に必要な情報を提供しました。

第5回 | 10月1日 済
インド人材が切り開く浜松の未来
インド人材の活躍の可能性や活用事例などについて説明しました。

第6回 | 11月27日
インドの大学との連携について
インドの大学とのような連携ができるのか、メリットや手続などについて説明します。

第7回 | 12月予定
浜松の生活圏について
浜松におけるインド人材の受け入れ体制について、浜松の生活圏を巡る予定です。

これまでの浜松市におけるインド関連の取組み

- ・インドの社会起業家を支援するNext Bharat VenturesとのMOU締結
- ・インド工科大学ハイデラバード校 (IITH) とのMOU締結
- ・インド・アーメダバード市との友好関係構築の会合
- ・アーメダバード経済考察会との関係構築
- ・インド国家技能開発公社 (NSDC) との関係構築
- ・インドワーカー人材獲得に向けた可能性の確認

など



➤ 令和7年4月27日～5月3日（7日間）

都 市：チェンナイ・ハイデラバード・バンガロール・デリー

出張者：産業部長、企業立地推進課長

内 容：・チェンナイにてJETROや現地進出地元企業を訪問し、経済情勢及び日本企業の進出動向の調査
・IITHとネクストバーラトベンチャーズを訪問し、イベント開催の事前調整の実施
・デリーの現地人材育成機関を訪問し、本市へのワーカー層人材の受入可能性調査

➤ 令和7年8月18日～8月24日（7日間）

都 市：アーメダバード・ハイデラバード

出張者：市長、産業部長、観光・ブランド振興担当部長

内 容：・令和6年度に友好協定締結に合意したアーメダバード市との協定締結
・IITHを訪問し今後のさらなる連携の可能性の調査



➤ 令和7年10月29日～11月3日（6日間）

都 市：バンガロール・コインバトール・ハイデラバード

出張者：内藤副市長、産業部長、労働政策課長

内 容：・ネクストバーラトベンチャーズを訪問し、今後の展開についての意見交換
・コインバトールでは6月に産業ツーリズムにて来浜したコーポレートコネクションズ・コインバトールメンバーを訪問し、本市企業との連携可能性の調査
・ハイデラバードではIITHとのマッチングイベント「Hamamatsu Day」の開催及びインド国内のスタートアップ支援施設「T-Hub2.0」の視察

➤ 令和7年12月10日～12月13日（4日間）

都 市：バンガロール

出張者：産業振興課長、企業立地推進課長

内 容：・現地で日系企業とインドIT企業を訪問し、連携や協業の状況、成果の確認、インドIT企業の誘致の可能性についての情報収集の実施



➤ 令和8年1月11日～1月18日（8日間）

都 市：デリー・アーメダバード・バンガロール・ハイデラバード

出張者：市長・産業部長（1/11～1/18）

スタートアップ推進担当部長（1/13～1/18）

観光・ブランド振興担当部長（1/12～1/17）、労働政策課長（1/11～1/18）

観光・シティプロモーション課長（1/12～1/16）

- 内 容：
- ・デリーにてインド人材の送り出し機関を取りまとめるNSDC（全国技能開発公社）を訪問し、今後の連携に関する意見交換
 - ・アーメダバード市で開催されるカイトフェスティバルへの参加
 - ・バンガロールにてインド企業との連携についての意見交換
 - ・ハイデラバードにて、スタートアップ支援機関のT-Hubおよびインド最大のプロトタイプセンターのT-Worksとの覚書等締結



➤ 令和8年2月4日～2月8日（5日間）予定

都 市：アーメダバード

出張者：産業振興課職員

内 容：・市内中小企業のインドへの事業展開を促進するため、インド国内へ市内中小企業で構成するミッション団を派遣
・現地企業の視察や交流、インド国内で開催される展示会「18th Enjiexpo」※へ訪問

※ 18th Enjiexpo

来場者数：50,000名（見込み）

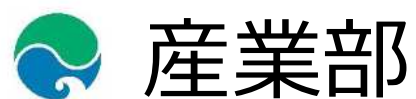
出展社数：500社（見込み）

対象分野：工作機械、オートメーション、溶接、金属加工、電気・電子など



令和7年度 シンガポール出張の報告

令和8年1月19日（月）



1 シンガポール出張の概要と実施内容



出張の概要

| | |
|-----|--|
| 期 日 | 令和7年8月19日（火）・22日（金）・23日（土）（インド出張に併せて） |
| 都 市 | シンガポール |
| 出張者 | 市長、産業部長、観光・ブランド振興担当部長、産業振興課2名、観光CP課1名 農業水産課1名 |
| 目 的 | 浜松へのインバウンド需要の拡大及び浜松地域製品のプロモーション、販路拡大 |

実施した主な取り組み

- ① 旅行会社向け
観光セミナーの開催【市長】
 - ・ 8/19のみ
 - ・ 会場：NOVOTEL SINGAPORE ON KITCHENER
- ② 百貨店で一般消費者向けの
浜松フェア開催【市長・議長】
 - ・ 8/22～8/26（5日間）
 - ・ 会場1：伊勢丹スコッツ
- ③ メディア・ビジネス関係者向けの
招待制イベント開催【市長・議長】
 - ・ 8/23のみ
 - ・ 会場2：Japan Creative Centre



2 シンガポール出張の主な成果 ① 観光セミナー



① 旅行会社向け観光セミナーの開催

| | |
|-----|--|
| 期 日 | 令和7年8月19日（火） 13：30～15:00 |
| 会 場 | シンガポールのホテル（NOVOTEL SINGAPORE ON KITCHENER） |
| 概 要 | ・ 市長によるトップセールスをシンガポールの旅行会社に対して実施 （浜松市の観光施設、産業観光、体験、伝統文化、食等の観光PR） |
| 参加者 | シンガポールの旅行会社12社・16名 |
| 成 果 | 参加者からは今後ツアーに取り入れたいコンテンツとして花、フルーツ狩り、フォトスポットなどの人気が高く、浜松市の認知向上及び商品造成につながるプロモーションとなった。 |



2 シンガポール出張の主な成果 ② 浜松フェア



② 浜松フェアの開催（一般消費者向け）

| | |
|-----|---|
| 期 間 | 令和7年8月22日（金）～26日（月） 11:00～21:00 |
| 会 場 | 伊勢丹スコッツ店 地下1階スーパーマーケット 特設ブース |
| 概 要 | <ul style="list-style-type: none"> ・浜松地域製品の販売 ・23日13:00～14:00に市長・議長によるトップセールス実施 |
| 出 品 | 8事業者・26商品（銘菓・日本酒・鰻・遠州織物など）を出品 |
| 売 上 | 5日間合計 1,744千円（23日が838千円で最大売上）※約9割の商品が完売した |
| 来場者 | シンガポール人が85%。インフルエンサー発信による来場者多数。 |
| 広 告 | インフルエンサー投稿 8本 合計131千回再生（8/26時点） |



インフルエンサーの投稿

シンガポール伊勢丹で浜松展が期間限定で開催！行ってみた

The Lost Ojisan
チャンネル登録者数 4,793万人
メンバーになる
チャンネル登録



市長によるトップセールス



浜松フェア会場の様子

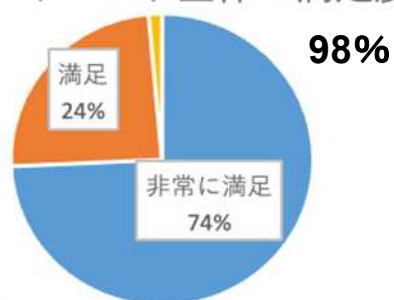
2 シンガポール出張の主な成果 ③ 招待制イベント



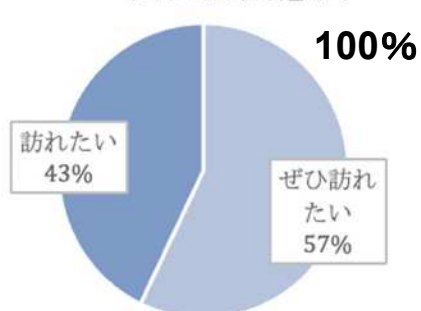
③ 招待制イベントの開催（メディア・ビジネス関係者向け）

| | | | |
|-----|--|-----|-------|
| 期 日 | 令和7年8月23日（土） 午前の部10:30～12:00・午後の部14:30～16:00 | | |
| 会 場 | Japan Creative Centre(JCC) | | |
| 概 要 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 市長によるプレゼンテーション実施 ・ 浜松製品の試食、観光紹介、エレクトーン演奏、遠州織物ワークショップ等 ※在シンガポール日本大使館JCCとの共催 | | |
| 参加者 | 午前の部：メディア・インフルエンサー等 | 50名 | |
| | 午後の部：飲食店・小売バイヤー等 | 36名 | 合計86名 |
| 成 果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 浜松市の認知向上、来訪意欲の喚起に貢献した。 ・ 本事業を通して事業者間の繋がりが生まれ、後の取引に発展した。また、外務省やシンガポール国営放送などからの寄稿・取材依頼につながった。 | | |

イベント全体の満足度



浜松訪問意向



市長のプレゼンテーション



イベント会場の様子





令和7年度 中国友好都市交流事業の報告

令和8年1月19日（月）



1 令和7年度中国訪問先・出張期間について



出張期間
令和7年7月22日～7月25日

訪問先
① 瀋陽市
② 杭州市

2 瀋陽市との交流



瀋陽市との協定内容等

協定締結日 平成22年8月28日

協定の主旨

- ・ 関係を深めながら、多方面における協力・友好関係を強化する。
- ・ 観光交流の分野での交流を先導的に推進し、相互理解を深めたうえで、経済、教育、科学技術、文化など、多方面の交流につなげる。

締結の理由

- ・ 瀋陽市は中国東北地区の経済、産業の中心的都市であり、今後の中国からの誘客の起点とすることができる。
- ・ 平成18年度から誘客交流事業を展開しており、つながりが深い。
- ・ 浜松モザイクカルチャー世界博2009の出展を契機に、本市との交流を促進したい意向があった。
- ・ 瀋陽市は工業の盛んな都市で、本市との産業構造の類似性が認められ、本市のものづくり産業の拡大も期待できる。

**主な
交流事業**

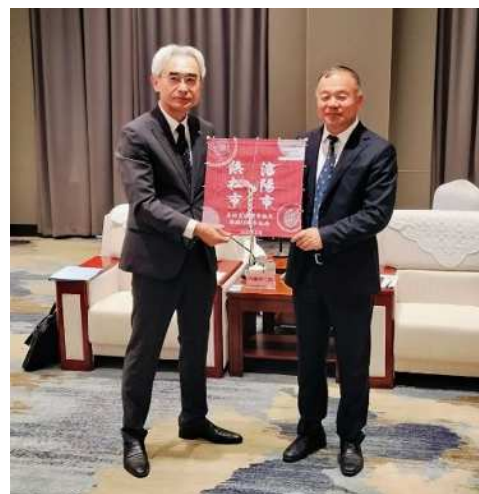
- ・ 瀋陽旅行会社・メディアの招請
- ・ 自治体職員協力交流事業（LGOTP）研修員の受入れ
- ・ 「Hello瀋陽」グローバルプロモーションin Japanへ参加

2 瀋陽市との交流（友好交流都市協定締結15周年）



①瀋陽市副市長表敬訪問

| | |
|-------|--|
| 期 日 | 令和7年7月23日（水） |
| 表敬先 | 劉克斌（リュウコクヒン） 副市長 |
| 概 要 | 友好交流都市協定締結15周年を迎えた瀋陽市を訪問し、瀋陽市政府と今後の友好都市交流について意見交換を行った。 |
| 会 場 | スイスホテル瀋陽 |
| 今後の展開 | お互いの市の観光の魅力を双方で発信し、市民レベルの観光交流を促進していく。 |



2 瀋陽市との交流（友好交流都市協定締結15周年）



②観光プロモーション交流会の開催

| | |
|-----|---|
| 期 日 | 令和7年7月23日（水）15：30～17:00 |
| 参加者 | 劉克斌 副市長ほか、瀋陽市旅行会社13社（26人） |
| 概 要 | 瀋陽市政府及び瀋陽市の旅行会社に対して本市の観光プロモーションを行った。 |
| 会 場 | スイスホテル瀋陽 |
| 成 果 | 自然、産業観光、フォトスポットなどの反応が良く、旅行会社から質問が多く出るなど、今後の商品造成につながるプロモーションとなった。 交流会の様子は複数のメディアに掲載され、瀋陽市政府協力のもとプロモーションを行うことで、効果的に本市の認知向上につながられた。 |



3 杭州市との交流



杭州市との協定内容等

協定締結日 平成24年4月6日

協定の主旨

- ・両市の代表的な観光資源である浜名湖と西湖を最大限に活用し、観光情報の相互発信の強化、観光広報活動を積極的に支援。
- ・観光機構及び観光団体、観光関連産業の交流と協力を積極的に推進。
- ・一般企業や経済団体間の交流を促進し、受入れ体制の整備を積極的に支援。
- ・青少年の観光関連事業への参加を促進し、交流機会を提供に努める。

締結の理由

- ・静岡県と友好提携の協定を締結している浙江省の省都が杭州市で、平成24年の30周年を契機に締結。
- ・細江町には静岡県と浙江省の友好を記念した公園（浙江省友好記念公園）が1984年に整備され、西湖から持ち帰った柳の木が植えられている。
- ・本市特産のお茶とみかんの故郷が浙江省とも言われているほか、杭州市はシルクの製造が盛んな都市であり、本市の繊維業とも共通点がある。

主な交流事業

- ・杭州旅行会社・メディアの招請
- ・自治体職員協力交流事業（LGOTP）研修員の受入れ
- ・杭州国際友好都市・市長フォーラムへ参加

3 杭州市との交流



① 杭州市副市長表敬訪問

| | |
|-------|--|
| 期 日 | 令和7年7月24日（木） |
| 表敬先 | 宦金元（ファンジンユアン） 副市長 |
| 概 要 | 友好都市の杭州市を訪問し、今後の友好都市交流について意見交換を行った。 |
| 会 場 | インターコンチネンタルホテル杭州 |
| 今後の展開 | 杭州市は観光地としての認知度が高く、西湖を活用したコンテンツなどには学ぶ点が多い。静岡空港からの直行便の就航先でもあることから、観光を軸とした相互交流を進めていく。 |



4 中国友好都市交流事業今後の展望



- ・ 2025年1～11月の中国からの訪日外客数（全国）は約876万人と国籍別で最多であり、重要なインバウンド市場である。
- ・ 中国政府からの要請により、現在団体旅行での訪日は難しい状況ではあるが、市民レベルでの訪日観光の意欲は依然として高い。
- ・ 瀋陽市友好交流都市協定締結15周年事業として、12月に現地旅行会社の招聘を予定していたが、現状、招聘後の旅行商品造成が困難であるとの先方からの申し出を受け見送りとした。
- ・ 友好都市交流を活用した誘客については、訪日観光の回復の兆しが見え始めた際に速やかに対応できるよう、情報収集や旅行会社への働きかけなどを継続して取り組んでいく。